



### 解答例

#### 【モチーフ】

植木鉢、トング、ビニール袋

#### 【講評】

今回の入試は、モチーフによって質感や色の差が大きく、表現に苦労された学生が多く見られた。作例は、丁寧に質感の差を表現している点が高く評価できる。「ビニール袋」と「トング」は、光を反射しやすいという意味で質感が似通ってしまいがちなのだが、金属の持つ硬さとビニールの持つ柔らかさの変化を意識した描写が素晴らしい。モチーフの配置において注目したいのは、「ビニール袋」とその上を横断する「トング」によって、「トング」の間から見える「ビニール袋」の平面性の表現と、「トング」の立体感が感じられる点である。全体の構図として、画面全体を使っているのびのびとまとめられているのが良い点である。また、「トング」の右上への動き、「ビニール袋」の左奥への動き、それをつなぐ縦の「植木鉢」とモチーフのダイナミズムを3方向へ意図的に配置した事も評価できる。

あえて弱い部分を指摘するならば、「植木鉢」の楕円が多少歪んでいる点であろうか。

